

2025年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修 実践編（災害看護） 報告

日時：2026年1月31日（土） 13時30分～16時00分

実施方法：オンライン研修

参加者：71名（会員68名，非会員3名）

主催：災害支援委員会

テーマ：避難生活における高齢者の活動と休息～時期に応じた支援を考えよう～

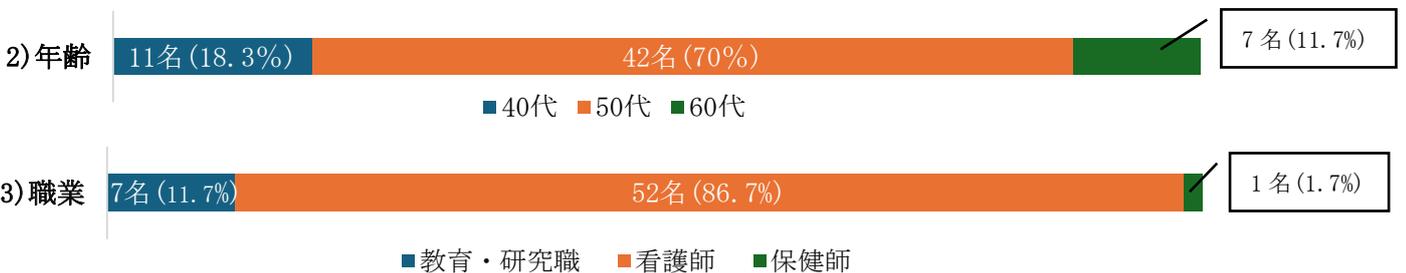
内容：

- 1) 被災高齢者の日常生活を制限する要因と看護
講師：朝田 和枝 氏（福井赤十字病院/災害看護専門看護師）
- 2) 被災高齢者の不眠が及ぼす影響と看護
講師：花房八智代 氏（永平寺町防災安全課/災害看護専門看護師）
- 3) 被災高齢者の支援 事例紹介
講師：酒井 明子 氏（福井大学医学系部門 看護学領域 看護学講座 臨床看護学 教授）
- 4) 質疑応答、グループワーク

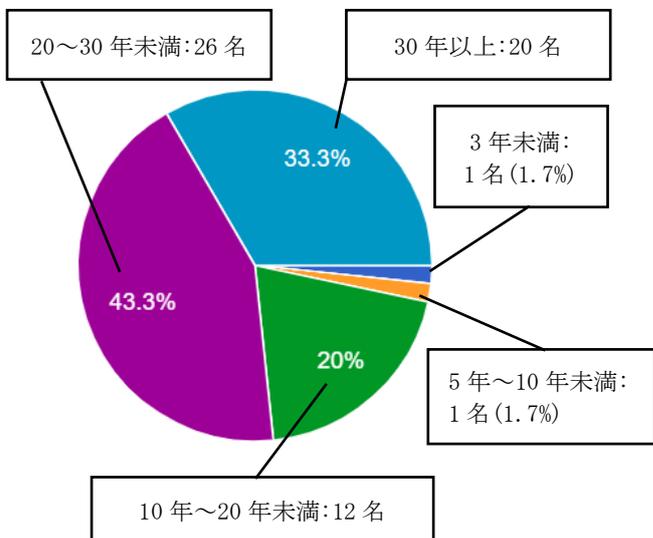
アンケート結果（回収数60，回収率84.5%）

1. 回答者の概要

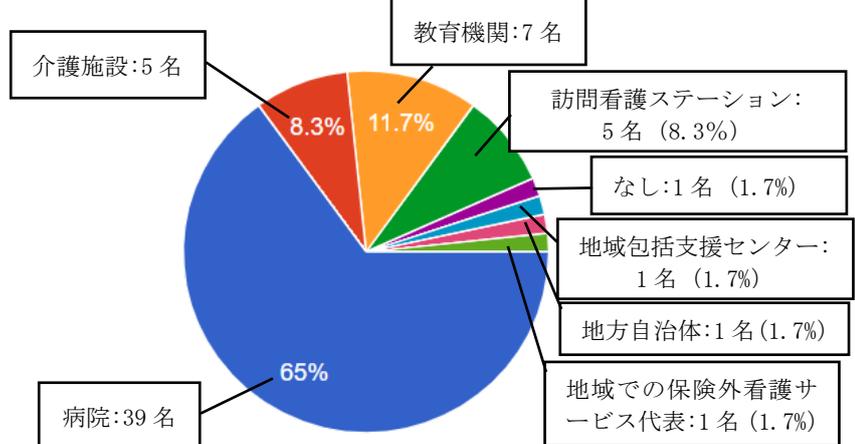
1) 入会状況 会員57名（95%）、非会員3名（5%）



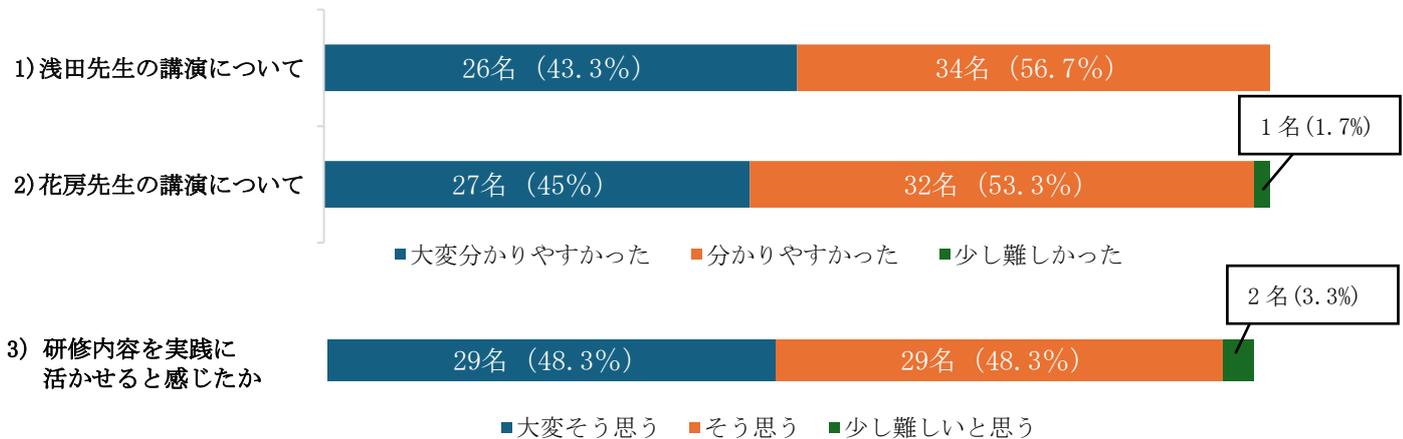
4) 経験年数（看護師・保健師のみ）



5) 勤務先



2. 研修内容



4) 今回の研修を受けて、取り組もうと考えていること(一部抜粋)

【災害時、専門職としての活動ができるように】

- まず、災害支援ナースの登録です。そこから避難所で認知症をもつ方をみつけ、個別支援を提供できればと思いました。
- 支援に行けるよう自身の災害時の備えを強化するとともに、こうした研修や被災地からの情報発信に敏感になろうと思いました

【組織のとりくみの推進】

- 高齢者への対応について盛り込んだ、災害マニュアルの見直し。
- 急性期病院で仕事をしているので、認知機能低下のある方の支援に関するフローなどを整えたい
- 所属施設の組織人として、常に災害が発生したことを想定して看護業務にあたる。定期的に行われている災害訓練では、得られた問題点を抽出して課題解決に向けた取り組みについて考察する。
- BCPの見直しや高齢者のACP支援など日頃からできる取り組みをしていきたい。
- 日頃から災害発生時のことを予想して、職員や家族、患者さんと話をしようと思いました。
- 自分の所属施設の災害対策の見直し、施設のある地区の特徴、防災計画を知る
- 本日学んだことの情報共有と組織の理解とマニュアル作り

【地域におけるとりくみの推進】

- 災害支援に関する地域の施策や取り組みを知ること
- 災害はいつ起こるかかわからないので、普段から高齢者や認知症について地域に発信していくこと
- 地域住民の方々と防災マップや避難所、防災庫の物品等を確認する機会を定期的に作りたい
- 地域での取り組みを理解し、専門看護師とのつながりや連携の中で日頃から災害について検討していきたいと思いました。
- 日頃から地域のコミュニティへ足を運び、地域住民のことを知ることと、地域包括支援センターや行政との連携を、災害支援の視点で考えていこうと思いました。

【個人の認識】

- 睡眠、環境がいかに重要かを再認識しました。改めて生活リズムを整えるケア、五感からの刺激が減少しない環境、活動の視点でケアを見直し、実践していこうと思います。

- 今一度、災害の備えについて見直しを行い、備蓄品の整備をしておく。
- 病院の中で、勤務していると、物品があるのが日常とっていました ケアの工夫を考えたい

【教育への還元】

- 災害看護学を担当しているので、学生に伝えていきたいと思います。

3. 研修会全体について

1) 参加費について

ちょうどよい 53 名 (88.3%)、もっとやすくしてほしい 7 名 (11.7%)

2) 開催時期については、60 名全員がよいという評価

3) 研修での困りごとについて (複数回答可)

問題なかった 54 名 (90%)、参加方法が分かりにくかった 1 名 (1.7%)

通信状況が悪かった 3 名 (5%)

その他： 資料のどこを見てよいか迷った

講義資料 (パワーポイントの資料) をもらいたい

4) 研修に対する感想・意見(一部抜粋)

【支援の実際からの学びが多かった】

- 震災を経験していないため、イメージがどうしてもわきにくかったが、具体的なエピソードを聞くことでイメージ化できた。災害支援に行った人の体験を聞くことで備えに対する意識が高まると感じた。
- 災害看護専門看護師による経験を通した発表は、とてもわかりやすかった。また、酒井先生による事例検討の話聞き、日頃の看護においても実践の振り返りはとても重要だと感じました。
- 災害時の支援が多岐に渡っていることや実際が分かり、勉強になった。
- 今まで実際に避難所のイメージができておらず、写真を拝見し非常に学びになりました。ご高齢の方を捉える時に、今問題がなくても今後どのようなことが想定されるのか、また今後の生活(あるべき生活やありたい生活等)を考えながら今必要な支援を検討していくことの難しさを学びました。
- まず、命を守るための避難行動につなげることと、避難所では看護の基本的なことをどう整える(モノがない中での工夫、人の協力)ことができるように考えていきたいと思いました。

【支援・受援に際して大事なこと】

- 災害支援の現場にいないと分からない事がたくさんあるのだと感じました。支援する側の人達にも様々な感情、考えがあるため、協力し合いながら支援していく事にも難しさがあるのではないかと感じました。だからこそ、その土地に暮らし生きてきた被災者の習慣や思い、希望を知り援助に繋げるという思いが大事なのだと感じた

【考えるきっかけとなった】

- 災害のない地域のため、報道などでしる程度であるが、いつ災害が起こっても不思議ではない時代のため考えるきっかけになった。

【グループワークによる学び】

- グループワークで共有し、平時から私たちが認知症の知識、関わりについて啓発すること、災害時に出向いて活動することの必要性を実感しました。

【意見】

- もう少し、認知症や認知機能が低下されたひとへの具体的な事例を聞けると良かった。

5) 災害支援研修について関心がある内容、実施してほしい研修（一部抜粋）

【支援活動の実際が知りたい】

- 現場で過ごした看護師のタイムスケジュールや活動内容を細かく知りたい
- 看護の場が様々なので避難所だけでなく様々な場面での看護が知りたい
- 日常の災害対策や、災害時の対応の様々な成功事例があれば、参考になると思います
- 災害時の認知症者へのケアについてもっと知りたいです
- 災害支援についての注意事項やコミュニケーションについて
- 災害死を予防するための支援について知りたい
- 個別の被災者へのケアの具体例を知りたい
- 実際に被災地経験のある方に実施した具体的支援内容を聞かせてもらいたい
- 被災者・スタッフの精神的支援やフォローについて

【スペシャリストとしての支援活動の実際が知りたい】

- 老年看護専門看護師や認知症看護認定看護師の災害時の活動について知りたい
- 病院、行政、民間で働く専門職としてのそれぞれの役割と連携のあり方

【在宅療養者の支援について知りたい】

- 災害時の訪問看護ステーションの活動について
- 要配慮者の個別避難計画や施設の防災計画の策定の基本について

【実践的なグループワーク】

- 災害事例をもとにグループワークで話し合いを行い、工夫や対策について考えられる研修
- 被災地における看護実践を経験された方の話を聞き、他の参加者とディスカッションできる機会があるとよい

【災害時支援の制度的な知識が知りたい】

- また、国の法律に関する内容も、企画していただければと思います
- 災害支援についての知識がないので、もっと基本的な制度から聞いてみたい
- 福祉避難所の実際やそこで活動するスタッフの支援方法や災害救助法の詳細など